

地域生活定住化センターを 中心としたグループホーム

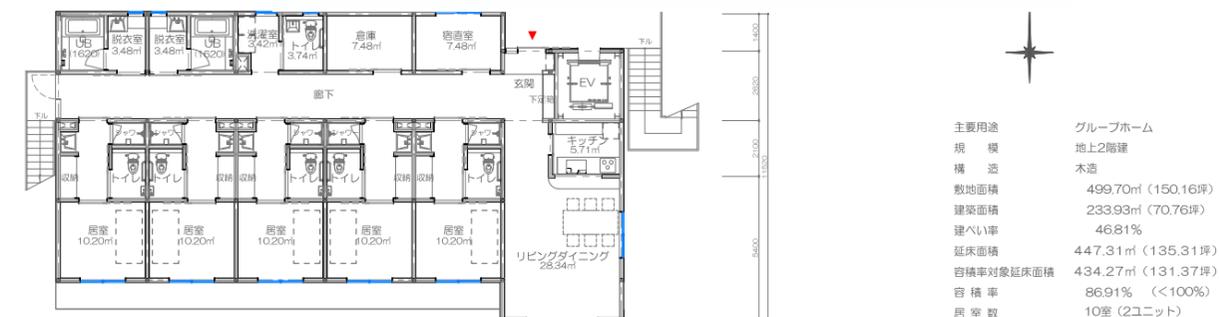
地域社会への移行を進めていくために、
「地域生活定住化センター（仮称）」の創設が必要です！

障がいのある人たちがともに暮らせる環境として、グループホームの整備推進が必要不可欠であることがお分かり頂けると幸いです。

グループホームの職員が元気で生き生きと働いて、利用者の安心と安全と快適さを守り充実した暮らしを保障するために支え合える体制が必要です。そのためにも、「地域生活定住化センター（仮称）」の整備が必要です。このセンターは、3から4ホーム（1ホーム2ユニット入居者10名）に1か所整備し、地域連携の拠点として、また、各ホームへの支援・サポート、ホーム職員への専門的アドバイス等を行うことを主としたものとし、グループホームが地域生活を支える上でなくてはならない役割を担うことをめざすものです。



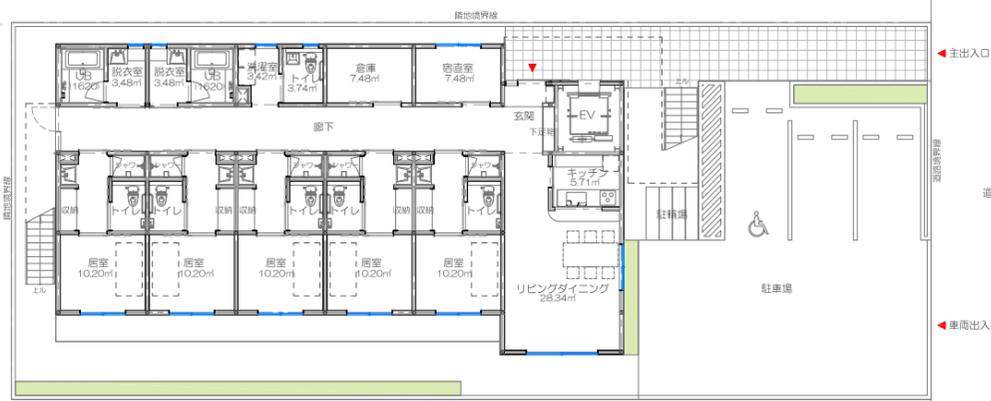
グループホーム立面図（案）



2階平面図
S=1:150
床面積231.03㎡ (69.89坪)
容積率対象床面積：224.51㎡ (67.91坪)

主要用途	グループホーム
規模	地上2階建
構造	木造
敷地面積	499.70㎡ (150.16坪)
建築面積	233.93㎡ (70.76坪)
建ぺい率	46.81%
延床面積	447.31㎡ (135.31坪)
容積率対象延床面積	434.27㎡ (131.37坪)
容積率	86.91% (<100%)
居室数	10室 (2ユニット)

グループホーム建設図面（案）



1階平面図
S=1:150
床面積216.28㎡ (65.42坪)
容積率対象床面積：209.76㎡ (63.45坪)